

主要施策 2 学校における「子どもたちへの生活困窮支援」

4年度当初 36,874千円
(3年度当初 9,977千円)

【基本的な考え方】

長期にわたるコロナ禍は、県民生活に大きな影響を及ぼし、特に子どもたちの学校生活への影響が顕在化している。学校における子どもたちへの生活困窮支援のために、公助の取組を一層推進するとともに、NPO法人等と連携した共助の取組を推進し、子どもたちの学びを保障する。

1 「食」の面から子どもをサポート

① 県立高校での朝食の提供

経済的な理由等で食事をとれない県立高校の生徒を支援するため、NPO法人等による居場所カフェの取組を実施している4校（全日制3校、昼間定時制1校）で、在校生の希望者へ朝食を提供する。

17,320千円

現状

支援ニーズの高い生徒が多く在籍する県立高校において、NPO法人等と連携して、くつろげる居場所を校内に作り、生徒が地域の大人などと交流することなどを通して、人と人がつながるきっかけを作るとともに、悩みごとなどを教職員以外の大人に話せる機会の創出等を目的として「居場所カフェ」を設置し、放課後等に校内で実施している。



居場所カフェの様子



令和4年度

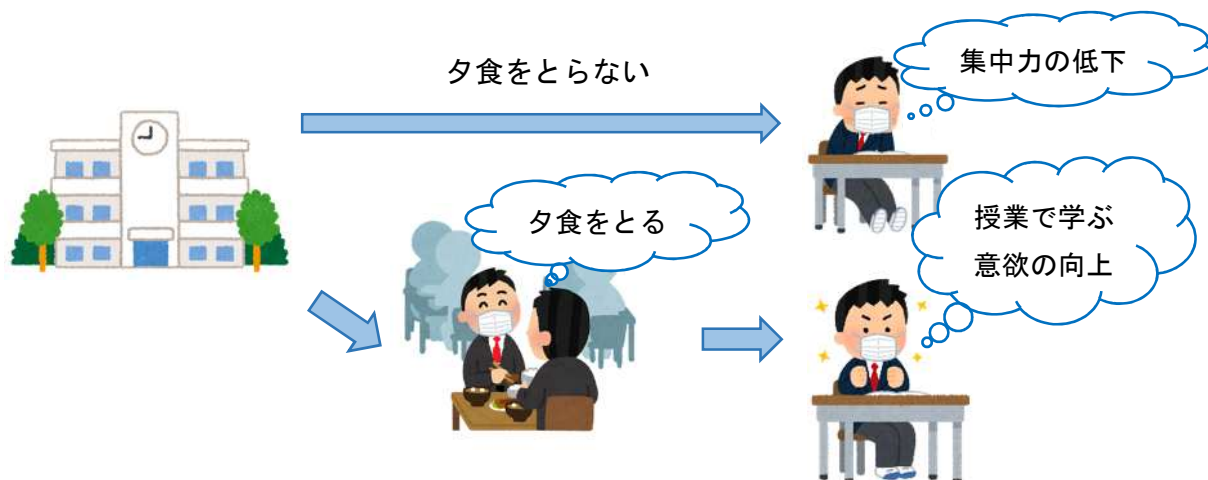
既に居場所カフェを実施している県立高校の中で「朝食提供」が可能な全日制3校と昼間定時制1校の4校で、カフェを拡充（ステップアップ）し、在校生の希望者へ食事（朝食）を提供する。（週2回）



朝食提供を通して、落ち着いて授業に臨めるだけでなく、放課後等に行われているカフェや補習等への参加者の増加が期待されるとともに、生徒の心のケアにつながられる。

② 県立高校での夕食の提供

夜間定時制 14 校の生徒に対して提供している夕食について、生徒の費用負担を軽減するとともに、栄養バランスの良い食事をとることで学ぶ姿勢を整える。	15,571 千円
---	-----------



2 生理の貧困への対応

③ 県立学校女子トイレへの生理用品の配備

県立学校に在籍する生徒が、生理用品の確保に不安を感じることなく、より安心して学校生活を送れるよう、すべての県立学校で女子トイレに生理用品を配備する。	3,983 千円
--	----------



生理用品の配備

(問合せ先)

【①】 教育局指導部高校教育課

課長 増田 電話 045-210-8240

【②、③】 教育局指導部保健体育課

課長 富澤 電話 045-210-8300